

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年1月7日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部経済学科
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2026年12月30日
明治大学卒業予定年月	2026年9月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	ネバダ大学リノ校(日本語名) University of Nevada, Reno(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2025年8月～2025年12月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 8月下旬～12月中旬 2 学期: 3 学期: 4 学期:
学生数	人
創立年	1874年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (米ドル) (1 現地通貨 = 150 円)	B 日本円	備考
授業料	0	円	
宿舍費	4300	円	Nevada LLC
食費	2350	円	ミールプラン
図書費		20000 円	
学用品費	30	円	
携帯・インターネット費		34400 円	eSIM 月 20G
現地交通費	0	円	バス無料(□大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	88.1	円	one-credit weekend course
旅費(留学中)		240000 円	米国国内 3 箇所
被服費	350	円	
医療費	0	73143 円	渡航前予防接種
保険費		56350 円	形態: 明治大学指定海外旅行保険
渡航旅費		240320 円	
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他	667	円	施設使用料
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	7785.1\$ (=1167765 円)	664213 円	
総計(A+B) ※円		1,831,978 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田空港 目的地：リノ・タホ空港 経由地：サンフランシスコ

復路 出発地：リノ・タホ空港 目的地：羽田空港 経由地：サンフランシスコ

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社：United
料金：240320 円

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社： 料金：
復路 航空会社： 料金： ∴合計：

航空券購入方法

旅行代理店(店名：)

インターネット(サイト名：United HP)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前：Nevada LLC) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 1)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学からの案内

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

キッチン付の Canada Hall は人気のため、すぐに埋まってしまう。
ミールプランのご飯は美味しくないなので、自炊したい人は申し込みが可能になったらすぐに手続きを始める方が良いと思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: _____)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: _____)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地の人に聞く。暗い雰囲気のある場所には1人で近づかない。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学内・寮内のネット環境は良好。

渡航前に月々20GのeSIMを買っていったが、旅行先等でしか使わなかった。eSIMを用意して行く人は10G程度の用意があれば十分だと思う。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行開設はせず、基本的にはSony Bankのデビットカードを使用していた。

大学内にあるBank of AmericaのATMで数百ドル下ろし、友達と割り勘した際などに使っていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

常備薬

ゼリー飲料、熱さまシート

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位	<input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Executive Gaming Leadership (GAM 420) Marketing in Integrated Resorts (MKT 492)		リーダーシップ、カジノマーケティング
科目設置学部・研究科	ビジネス学部	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Julie A. Hogan	
授業内容	カジノ運営と IR における経営・マーケティングを扱う。カジノ事業がどのように意思決定され、経営陣がどのようにリーダーシップを発揮するかを学ぶとともに、統合型リゾートが「観光・娯楽・飲食・宿泊」など多様な施設を束ねる一体型ビジネスモデルであることを理解する。 前半は Executive Leadership について、後半は Casino Marketing について学ぶ。	
試験・課題等	授業内小テスト・参加・出席: 20%(200 点) SET プロジェクト: 50%(500 点) 試験 3 回: 30%(300 点) 合計: 100%(1000 点) SET プロジェクトは各自選択テーマに基づき調査・執筆・発表を行う。 テーマ選定、マインドマップ作成、テーマ文の発表、アウトライン提出 Exploratory Essay、Final Paper、プレゼンテーションと順を追って課題が課せられるので、計画的に取り組める。	
感想を自由記入	本授業は 4 年次レベルの少人数制で、受講生のほとんどが英語ネイティブであったため、当初は議論への参加が大きな負担となった。毎回グループワークが課され、内容理解や発言準備に多くの時間を割きながら臨んだ。しかし、学期の中盤以降は予習方法が確立し、授業内容に対する自信と理解が徐々に深まった。 担当教員は非常に熱心であり、オフィスアワーに積極的に参加して課題の相談を行うことで、学習意欲や改善への姿勢を示した。最終的に、本授業は留学期間中で最も学びの大きい科目となり、語学力に加えて実践的な分析力やコミュニケーション力の向上に繋がった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Principles of Macroeconomics	マクロ経済学入門
科目設置学部・研究科	ビジネス学部
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Mark Pingle
授業内容	市場と政府の関係が、経済全体の生産・雇用・所得・利子率・賃金・物価・貿易収支などの水準をどのように決定するかについて基礎的な分析を行う。 大恐慌以降のアメリカのマクロ経済史、市場経済の仕組み、政府が市場経済に与える影響について学ぶ。
試験・課題等	授業は、2回の中間試験(Midterm)と1回の期末試験(Final)に加え、課題提出・小テスト・授業参加で構成されていた(配点:Midterm 20%×2、Final 35%、Assignments 15%、Quizzes 5%、Participation 5%)。試験は合計3回実施され、いずれも授業内容の理解度を問う形式であった。 試験対策として、授業内で直前に頻出の誤答や典型的な思考ミスを丁寧に解説する時間が設けられ、過去問も公開されていた。ただし、過去問と同一ではなく、視点や設定を変えて出題されるため、単なる暗記ではなく理論の本質理解が求められた点が印象的であった。また、Assignmentsについてはレポート課題が1回、教科書に掲載されている労働市場分析やIS-LM分析に関する約15問に回答するものが2回提出した。課題は友人と議論しながら取り組むことが認められていた。
感想を自由記入	学期後半、期末試験前の時点で成績が90%以上に達した学生は「メンター」として認定され、期末試験が免除される制度があり、私は条件を満たしたため免除の対象となった。明治大学でマクロ経済学を学んでいたため、授業内容には比較的スムーズに対応できた。基礎が固まっていれば十分に乗り切れる難易度だと思う。また、担当教授の英語は発音が明瞭で非常に聞き取りやすく、英語での授業理解に不安がある学生にとっても取り組みやすい環境が整っていた。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
ENG112 speaking- listening	
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 分が 回
担当教授	Aaron
授業内容	リスニング、スピーキングに特化した授業
試験・課題等	mid-term は TED を用いたリスニングテスト。内容が理解できているかが問われる。 Final は 5 分程度のプレゼンテーションを行う。
感想を自由記入	Aaron 先生は、言語学習教育研究を専門にしている先生なので、教え方や授業構成も論理的でわかりやすかった。また、先生は日本をはじめとするアジアに興味があり、よく知っている。宿題も少なく、簡単だと感じることも多かったが、留学生は英語の授業を 1 つとらなくてはいけないので、他の科目の勉強に専念したい人にはおすすめてす。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
ENG112 Reading- writing	
科目設置学部・研究科	
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	Aaron
授業内容	リーディング、ライティングに特化した授業
試験・課題等	mid-term は文章を読み、構成が理解できているか、メインテーマを捉えられているのかなどを問われる。 Final は自分の好きなテーマで論文を書く。
感想を自由記入	授業が朝早いため、夜型の人は注意が必要だと思います。 宿題は speaking - listening の授業よりは多いが、ENG113 より少ない

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学中の就職活動はモチベーションの維持が難しい。留學生活と両立させたい場合は日本である程度準備しておくと思う。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	語学試験の勉強
	8月～9月	
	10月～12月	選考
留学開始年	1月～3月	出願
	4月～7月	航空券購入、予防接種、滞在先確保
	8月～9月	留学開始
	10月～12月	帰国
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学準備で一番大切だと感じたのは、「とにかく早く動き始めること」です。語学スコアの取得に想像以上に時間がかかったり、締切直前に焦ると選択肢が一気に狭くなるので、1・2年生のうちから計画的に受験しておくことを強く勧めます。学校選びも同様で、明治大学の留学報告書だけでなく、SNS や現地学生の発信を調べると、大学の雰囲気やリアルな生活が見えてきてとても役立ちました。

実際に留学してからは、「捨て身で話しかける勇気」が何より大切だと感じました。文法が完璧でなくても、とにかく人に話しかけることで語学力は伸び、同時にメンタルも鍛えられます。恥は一瞬、経験は一生です。

生活面では現実的な準備も重要でした。学食は正直おいしくなく、自炊できる寮に申し込んでいればと後悔しました。キッチン付きの寮(カナダホールなど)に入りたい人は、入学手続きと寮申請をとにかく早くしてください。また、物価も高いので、奨学金があると心の余裕が全然違います。

ルームメイトは完全に運です。羨んでも仕方ないので、切り替えと諦めが大事です。日本基準の衛生観念を少し手放したり、夜中にハイテンションで帰ってくるルームメイトを面白がって迎えたり、そんな迷惑な経験が意外と楽しい思い出になります。どうしても共同生活が苦手なら、最初から一人部屋を検討するのも賢い選択です。とにかくフッカルでいましょう。

授業の難易度は思ったほど高くありませんでしたが、先生選びは重要です。口コミサイトで評判を確認し、サポートが手厚い先生を選ぶと留学生でも安心して学べます。

異国の地で1人で生きていくことは、失敗も含めて全部が財産になるので、ぜひ前向きに挑戦してください。